●発行／福島県広野町議会　〒979-0402　福島県双葉郡広野町大字下北迫字苗代替35　●編集／広野町議会広報委員会　TEL0240-27-4165（広野町議会事務局）

まちかどインタビュー

国道6号線、全線開通の影響は

来年大型連休には高速道路も仙台まで開通予定

東日本大震災と原発事故発生から約3年半ぶりに6号国道全線で一般車両の通行が可能となりました。経済活動の活性化や復興加速につながると期待される一方、課題もあります。今後は高速道路の開通も予定されています。感想を伺いました。

田村（たむら）　弘一（こういち）さん
（上浅見川・大谷内）

6号国道が通行可能になったことは、皆さんが待ち望んでいたことです。

これまでは通行証が必要で制限があり不便でした。

しかし、双葉郡内の治安が心配です。

防犯カメラの設置がされてはいますが、警備の強化が必要。

改良工事が行われている桜田交差点

桜田交差点の改良等道路の整備も各所で進んでいますが、災害時の避難誘導がスムーズに実施できるようさらなる整備と万が一に備えることが重要だと思います。

木幡（こはた）　勝廣（かつひろ）さん
（下北迫・東町）

6号国道開通の日に南相馬市へ向かい車で通行しました。

富岡町以北の国道脇には災害にあった家や壊れた車がそのまま残っていたり、脇道への入口付近にバリケードが置かれ、警備の人々が多数配置されていて、恐怖にも似た気持ちになりました。

放射線量の高い大熊町や双葉町の状況があるのに通行を可能にしたことへの疑問と通行した車の除染が必要なのではないかと思っています。

編集後記

月日の流れは早いものである。あの震災原発事故から3年6カ月が過ぎてしまいました。そんななか、我が町の再生に向けて一条の光が見えてきました。

10月中旬には災害公営住宅への入居が始まります。また、駅東側整備事業も始まります。さらには、ふたば未来学園高校の建設地も決まり、町の姿も少しずつではあるが確実に変わろうと歩み始めたようである。

一方では、町の基幹産業でもある農業も昨年を上回る154町歩の田んぼに作付けがあり収穫期を迎え稲穂が黄金色に染まりたわわに実った姿は豊作のようであるが、手放しで喜べない米価下落がありここは政治の出番が望まれる。

この議会だよりが皆さんの手元に届く頃は、10月中旬頃になるでしょうから山野も秋の色を帯び、どこかうら寂しさを覚えることでしょう。

しかし、お互いどこで暮らしていてもふる里広野の水・空気・風景を忘れることなく復興再生のため今出来ることを精一杯しようではありませんか。

（門馬　巧）

発行・編集責任者
議　長　鈴木紀昭

広報委員会
委員長　渡邉正俊
副委員長　北郷幹夫
委　員　塩　史子
委　員　渡辺久長
委　員　門馬　巧
委　員　畑中大子
委　員　小磯利雄

次の定例会は12月です

VEGETABLE OIL INK